

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農山村振興費

事業名 都市農村交流推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農村振興課 農村企画係 電話番号：058-272-1111(内4176)

E-mail：c11427@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,000 千円 (前年度予算額：2,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,000	0	0	0	0	0	0	0	2,000
要求額	2,000	0	0	0	0	0	0	0	2,000
決定額	2,000	0	0	0	0	0	0	0	2,000

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

テレワークなどの普及により人々のライフスタイルが変化し、田舎暮らしへの関心の高まりや農村での定住志向などの「田園回帰」の動きによる日本の農業や農村への魅力が再認識されている。岐阜県の農村地域へ興味をもってもらうきっかけとして、多様な地域資源を活かした農泊や都市農村交流（グリーンツーリズム）を推進し、農村の魅力を広く発信して、農村の関係・交流人口の増加を図る必要がある。

(2) 事業内容

岐阜ならではの農泊やグリーンツーリズムなど、農村地域の資源を活用した活動の推進や情報発信を行う。

【内容】

- ・ 「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会と連携したグリーンツーリズムの推進
- ・ ぎふグリーンツーリズム専用サイト「ぎふの田舎へいこう！」による情報発信
- ・ 農林漁業体験施設を中心とした農泊やグリーンツーリズム施設の調査

(3) 県負担・補助率の考え方

活動範囲が県全域にわたる協議会の活動と連携した施策であるため、県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	440	職員旅費
需用費	60	事務用品購入費
役員費	60	郵送・通信費
委託料	1,400	WEBサーバー維持管理、農林漁業体験施設調査
使用料	30	会場借り上げ料
負担金	10	全国農泊シンポジウム参加費
合計	2,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略、ぎふ農業・農村基本計画

(2) 後年度の財政負担

ぎふ農業・農村基本計画の計画期間であるR7まで実施する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

自然、文化など農村の豊かな地域資源を活かしたグリーンツーリズムの推進及び都市との交流を促進し、農村地域の活性化を図るため、「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会と連携して人材育成やネットワーク強化などの受入体制づくりと効果的な情報発信を図るとともに、都市住民に農村地域の魅力を発信することで、農村に人を呼び込み、農村機能の維持を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R4年度	R5年度	R6年度	終期目標	達成率
	R2年度	実績	目標	目標	(R7)	
農林漁業体験者数	100千人	178千人	280千人	290千人	300千人	59.3%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ Webサイト「ぎふの田舎へいこう！」による情報発信により、サイト訪問者数は増加したが、新型コロナの影響で、農林漁業体験者数の増加にはつながらなかった。 ○ 「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会と連携した受入体制の支援を行い、推進協議会が実施する各種研修会やネットワーク大会等の開催を支援し、県内農林漁業体験実践者のレベルアップを図った。 ○ 農村地域の魅力を発信するパンフレット「ヒトビトVo1.2」を作成し、PRを実施した。
	指標① 目標：300千人 実績：100千人 達成率：33.3%
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ Webサイト「ぎふの田舎へいこう！」による情報発信により、サイト訪問者数、農林漁業体験者数ともに増加した。 ○ 「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会と連携した受入体制の支援を行い、推進協議会が実施する各種研修会やネットワーク大会等の開催を支援し、県内農林漁業体験実践者のレベルアップを図った。 ○ 県内農泊施設をPRするパンフレット「農泊のススメ」を作成し、県内農泊施設をPRした。
	指標① 目標：300千人 実績：159千人 達成率：53.0%
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ Webサイト「ぎふの田舎へいこう！」による情報発信により、サイト訪問者数、農林漁業体験者数ともに増加した。 ○ 「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会と連携した受入体制の支援を行い、推進協議会が実施する各種研修会やネットワーク大会等の開催を支援し、県内農林漁業体験実践者のレベルアップを図った。 ○ 「ぎふの田舎応援隊」の隊員を紹介するパンフレット「ヒトビトVo1.3」を作成し、ボランティアをきっかけとした都市農村交流をPRした。

指標① 目標：300千人 実績：178千人 達成率：59.3%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>・ 持続可能な社会の実現のため、農村における社会・経済機能を維持するためにも都市農村交流の更なる推進が求められており、必要性は増している。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>新型コロナウイルスの影響で人流に制限があり、コロナ前の状況には戻っていないが、「ぎふの田舎へいこう！」のサイト訪問者数は過去最高を記録し、農林漁業体験者数も前年度と比較して増加した。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>民間団体と連携してグリーンツーリズム推進の取組を効率的に実施している。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 県内のぎふグリーンツーリズムを推進するため、県内のグリーンツーリズムのとりまとめ団体である「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会の一層の体制強化を図る必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地方分散、田園回帰の大きな流れをつかむためにも継続すべき。各種施策を、関係課や「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会と連携して取り組む。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	<p>移住定住フェア【地域振興課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	<p>・ 都市部からの移住希望者に対し、農村の魅力をPRすることで、農的関係人口の増加や、農村地域への移住を促進する。</p>